

「受験生」としての好スタートを切ろう!

新年が明け、3年生になるまで、あと3か月を切りました。先輩たちは今、センター試験や、国公立・私立大学の個別学力検査に向けてがんばっています。次はいよいよみなさんが「受験生」です。「受験生」として好スタートを切るために、今からできることには、積極的に取り組みましょう。

大学入試の流れを知ろう! ※2019年度入試の場合(推薦・AO入試を除く)

入試の流れと、その時期の先輩たちの学習状況などをあわせて把握し、より具体的に自分が受験生になった時の動きをイメージしましょう。また、「今できる!」の欄については、今のうちから積極的に取り組んでみましょう。

時期	流れ・先輩たちの学習状況など	今できる!・補足情報など
基礎力 養成期 4月 ~ 6月	進路希望調査 入学者選抜要綱発表 (各大学:6月4日~7月31日) <難関大に合格した先輩の約7割が 3年生春に実戦していた項目> ・学習開始時間が決まっていた ・平日2時間以上の学習時間を確保 ・休日3時間以上の学習時間を確保	今できる! ・学習開始時間を決め、毎日学習する習慣を身につけよう! ・平日は2時間以上、休日は3時間以上の学習時間の確保をめざそう!
基礎力 完成期 7月 ~ 8月	オープンキャンパスのピーク 夏休みは、受験生にとって、 苦手克服のラストチャンス ^① の時期。 先輩たちは、徹底的に復習を行い、 基礎力の完成をめざします。	今できる! ・2年生までの苦手分野は、基本から見直し、着実に克服していこう!
実力 養成期 9月 ~ 12月	大学入試センター試験出願 (9月30日~10月10日) 先輩たちは、問題演習などの 本格的な受験勉強を開始します。	今できる! ・志望校の入試問題を見てみよう!
入試 直前期 1月 ~ 3月	大学入試センター試験 (1月18日・19日) 前期日程試験(2月25日~) 中期日程試験(3月8日~) 後期日程試験(3月12日~)	来年度からの名称は「 <u>大学入学共通テスト</u> 」です。 今できる! 志望校の入試方式を見てみよう!

模擬試験を有効活用して、「受験生」としての好スタートを切ろう!

1月は模擬試験が実施されます。模擬試験を最大限に有効活用すれば、自分の力を大きく伸ばすことができます。下には、試験前~試験後まで、模擬試験を有効活用するためのポイントをまとめています。よく読み、特に**チェック**の内容には、ぜひ取り組んでみましょう。

<試験前>

- ・試験前に目標設定、志望校の絞り込みを行う。
⇒例:国語で8割以上とる!〇〇大学A判定!など
- ・目標を達成するため、学習スケジュールを立てる。
- ・試験に必要な持ち物をチェックする。
⇒腕時計、筆記用具、受験票など

チェック 志望校を決定する
模擬試験では、同じ志望校をめざすライバルのなかでの、自分の位置を知ることができ、受験勉強のモチベーションに繋がります。

チェック 学習計画を立てる
大まかに学習目標を決めて、1週間単位で予定を振り分けましょう。その際、週末に予備日を設けるなどして、計画倒れにならないように工夫しましょう。

<試験当日>

- ・試験開始の2~3時間前を目安に起床する。
- ・朝食をきちんととる。
- ・試験会場に余裕をもって到着する。
- ・自己採点のために解答を控える。

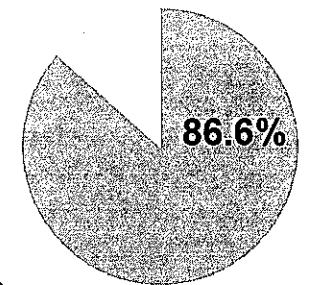
本番でも実力を出し切れるよう、模擬試験の時から、「本番意識」を持って、行動しましょう。

<試験終了後>

チェック 受けっぱなしで終わらない!
自己採点&やり直しで、学力アップをめざそう!

- ・自己採点をする
⇒「あっていたのか、間違っていたのか」を、答えだけでなく、考え方で含めて採点する。
- ・「間違えた問題」と「理解があいまいな問題」をやり直す
⇒「なぜ間違えたのか」や「わからなかったこと」について明らかにする。理解があいまいだった単元については、その基礎を学びなおしたり、類題に取り組んだりして、徹底的に理解するように心がける。

「ただ暗記するのではなく『理解』して覚える」と答えた
難関大合格者の割合は…



①「難関国立大学合格者」のデータは、2019年度入試における合格者の、スタディーサポート3年生第1回の平均回答率。